

化学物質の室内濃度指針値の改定について(お知らせ)

株式会社 環境科学研究所

厚生労働省のシックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会において2019年1月17日付で室内濃度指針値のうち、キシレン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの指針値が改定されました。尚、「学校環境衛生基準」は改定されていないため、学校については改定前の指針値になります。

室内濃度指針値一覧表

揮発性有機化合物	室内濃度指針値*	毒性指標	設定日	改定日
ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm)	ヒト吸入暴露における鼻咽頭粘膜への刺激	1997.6.13	
アセトアルデヒド	48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm)	ラットの経気道暴露における鼻腔嗅覚上皮への影響	2002.1.22	
トルエン	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm)	ヒト吸入暴露における神経行動機能及び生殖発生への影響	2000.6.26	
キシレン	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm) (改定前 870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20ppm))	妊娠ラット吸入暴露における出生児の中枢神経系発達への影響	2000.6.26	2019.1.17
エチルベンゼン	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)	マウス及びラット吸入暴露における肝臓及び腎臓への影響	2000.12.15	
スチレン	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)	ラット吸入暴露における脳や肝臓への影響	2000.12.15	
パラジクロロベンゼン	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	ビーグル犬経口暴露における肝臓及び腎臓等への影響	2000.6.26	
テトラデカン	330 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	C8-C16混合物のラット経口暴露における肝臓への影響	2001.7.5	
クロルピリホス	1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppb) 小児の場合0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.007ppb)	母ラット経口暴露における新生児の神経発達への影響及び新生児脳への形態学的影響	2000.12.15	
フェノブカルブ	33 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (3.8ppb)	ラットの経口暴露におけるコリンエステラーゼ活性などへの影響	2002.1.22	
ダイアジノン	0.29 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppb)	ラット吸入暴露における血漿及び赤血球コリンエステラーゼ活性への影響	2001.7.5	
フタル酸ジ-n-ブチル	17 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (1.5ppb) (改定前 220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppm))	母ラット経口暴露における新生児の生殖器の構造異常等の影響	2000.12.15	2019.1.17
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (6.3ppb) (改定前 120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (7.6ppb))	ラット経口暴露における精巣への病理組織学的影響	2001.7.5	2019.1.17

\*両単位の換算は、25°Cの場合による。